

農林水産大臣賞 受賞！ 第38回関東ブロック茶の共進会

第38回関東ブロック茶の共進会の審査会が、7月28日～7月30日の3日間にわたり、埼玉県農林総合研究センター茶業研究所及び、所沢市役所にて行われました。

本共進会は、山梨・長野・新潟・静岡を含む1都10県から、全193点の出品があり、荒茶（普通煎茶・深むし煎茶）、仕上茶（普通煎茶）の3部門で競われました。

外観及び内質審査の結果、荒茶（普通煎茶）の部において所沢市茶業協会 新井重雄氏（三ヶ島）が、また仕上茶（普通煎茶）の部において狭山茶所沢研究会 増田貴雄氏（北秋津）が、それぞれの部門で最高位である優秀賞（農林水産大臣賞）

を受賞されました。

新井氏は、所沢市茶業協会の会長を務められるなど、長年狭山茶業の発展に尽力されています。

増田氏は、20代の若手茶業者で、市内の若い農業後継者で組織されている所沢市4Hクラブにも所属しており、今後の更なる活躍が期待されます。

また、今回優秀賞を受賞されたお二人の他に、所沢市から金賞1名、銀賞4名、銅賞6名の方が受賞され、狭山茶の産地としての大きなアピールにもなりました。

全国トップクラスの所沢の狭山茶をぜひご賞味ください。

農産物直売所「とことこ市」で地産地消！



「地産地消」という言葉をご存知でしょうか？「地産地消」とは地元で採れた農産物を地元で消費しようという取り組みで、輸送時に排出されるCO2の削減が図れるとして環境の面からも注目を集めています。この地産地消の取り組みの一環として

所沢市とJAいるま野が共同して「新鮮で安全・安心な高品質の所沢産農産物」を市民の方にPRし、地場農産物の販路の新規開拓と所沢産農産物の消費拡大を目的に農産物直売所「とことこ市」を平成17年にオープンしました。とことこ市の最大の魅力はなんといっても「新鮮で安全・安心な農産物」です。野菜や卵はその日の朝に市内農家から直接出荷されるため、旬の野菜が新鮮な状態で販売されています。野菜や卵以外にも手作りのまんじゅうやキムチ、所沢の名産品である狭山茶も販売しています。近くにお立寄りの際は「とことこ」と歩いて「とことこ市」に足を運んでみてはいかがでしょうか？

とことこ市 アクセス

所在地：所沢市御幸町2番14号

（駐車場はございませんので、徒歩・自転車・公共交通機関等をご利用ください）

営業時間：午前9時30分～午後6時

定休日：月曜日

